

組織内の“見えない問題”を言語化する 人事・HRフレームワーク大全

◆人事の課題の複雑さにフレームワークで挑む

人事の課題は、さまざまな問題が影響し合い、複雑だ。制度の問題だけでなく、個人の資質、伝え方や感じ方などコミュニケーションといった、多数の要素が関係し合う。問題となっている状況をどう整理し、どこから打ち手を考えるか、頭を悩ませることも多い。本書は、そうした「見えにくさ」を、学術研究に基づいたフレームワークを活用して切り崩していくことを支援する本だ。

各フレームワークの解説は、フレームワークの図解に加え、「どのような場面で有効か」「どんなフレームワークか」「どう使えば良いか」「理解のための例題」「何に注意すべきか」「現場で使うためのストレッチ」から構成される。理論的な背景から現場での活用までを理解・活用しやすく、紹介される83のフレームワークを通読すれば、人と組織に関する体系的な知識が得られる。

伊達洋駆 著
すばる舎
2025年9月28日
756頁
4,950円（税込）



一方で、実際の課題に対して、本書で紹介されるフレームワークから、どれを適用するか判断には、トレーニングが重要になりそうだ。自身がもっている課題や問題意識に応じて、それらにどう活用するかを考えながら読むことも有効だろう。

フレームワークを活用して、より効率的かつ効果的な施策の立案に役立てたい。